

科目名	情報工学Ⅱ	英語科目名	Information Engineering Theory Ⅱ
開講年度・学期	平成 23 年度・通年	対象学科・専攻・学年	電気情報工学科 2 年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	2 単位	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	小林幸夫	居室 (もしくは所属)	電気物質棟 2 階
電話	小山高専市外局番+2226	E-mail	ykoba@小山高専ドメイン
授業の達成目標	授業達成目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準要件
1. Visual Basic を用いた基本的なプログラムを作成、実行することができること。	③		
2. プログラムの制御構造について説明できること。	③		
3. 各種プロシジャを使用できること。	③		
4. グラフィックスの表示原理を説明できること。	③		
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標 1～4 : 年 4 回の試験において 60%以上の成績で評価する。			
評価方法			
評価は下記のように総合して行う。			
1. 年 4 回の試験 (80%)			
2. 課題 (実習課題完成度および提出レポート) (20%)			
授業内容			
1. ガイダンス、Visual-Basic.NET 起動・終了方法			
2. プログラムとプログラミング言語			
3. フォームデザイナ、プログラミングの基本			
4. フォーム、コントロールの編集、オブジェクトのプロパティの編集			
5. 3 章演習問題			
6. イベント駆動型プログラム、プログラミングによるオブジェクトのプロパティの編集			
7. メソッドの呼び出し、4 章演習問題			
8. (前期中間試験)			
9. 変数と演算			
10. 算術関数、文字列操作関数			
11. 5 章演習問題			
12. 条件分岐 If 文			
13. Select 文			
14. 6 章演習問題			
15. 繰り返し処理			
(前期期末試験)			
16. 前期期末試験問題解説			
17. For 文による繰り返し処理			
18. Do While 文による繰り返し処理			
19. 7 章演習問題			
20. 配列変数			
21. 配列変数と繰り返し			
22. 8 章章末問題			
23. (後期中間試験)			
24. プロシジャ, Sub プロシジャ			
25. Function プロシジャ			
26. 9 章演習問題			
27. グラフィックス			
28. ファイル操作			
29. プログラミングとアルゴリズム			
(後期期末試験)			
30. 前期期末試験問題解説			
キーワード	Visual Basic、プログラミング言語		
教科書	山本雅弘・重定著「学生のための詳解 Visual Basic		
参考書	若山芳三郎著「学生のための Visual Basic.NET」東京電機大学出版局		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	情報工学 I		
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目	情報工学Ⅲ		
連絡事項			
1. プログラミング技法を修得するとともに、論理的思考能力を高めることを期待する。			
2. 講義を最初に行い、関連した課題を実際に Visual Basic を用いてプログラムを作成する。			
3. 学習の達成度は、課題の閲覧チェック状況、演習問題の閲覧チェック時に伝える。			
4. 講義時間以外でも質問がある場合は応じる。			
5. 講義時間以外に演習問題を行う場合は、情報センター演習室の利用規則に則ること。			
シラバス作成年月日	平成 23 年 2 月 27 日		